



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第216号 2020年3月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和2年2月22日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

もうすぐ春ですね

サクラの季節が近づいてきました。最近、テング巢病（サクラの伝染病）の影響を受けたソメイヨシノに変わって、病気に強いとされる「ジンダイアケボノ」という種類のサクラが植樹されています。このジンダイアケボノはもともとは日本からワシントンに贈られたサクラで、その後、アメリカで品種改良で育てられたアケボノ（アメリカ）というサクラが逆輸入という形で神代植物公園で育てられ、さらに日本で品種改良されたサクラです。数奇な運命を辿るこのサクラが、今、日本のあらゆるところで、ソメイヨシノに変わって「故郷に錦を飾る」かの如く、濃いピンク色の、少し小ぶりの花を誇らしげに咲かせています。



（すまい造りメール
第193号参照）

Sacred Eyes

地元横須賀市出身の彫刻家・土屋仁応（つちや・よしまさ）氏の第4期所蔵品展が横須賀美術館の地階所蔵展示室8にて4月5日（日）まで特集展示として「柏」「子猫」「麒麟」「竜」「獅子」「象」「異端児」「小鹿」の8作品が展示されています。神秘的なイメージの木彫り作品は、2000年代の美術界において



独自のステージを築き上げています。その静かで神聖なる造形の世界をじっくりとご堪能ください。

一般310円

高大生・65歳以上210円

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next100
創刊 2002.4.1.

よこすか文学館

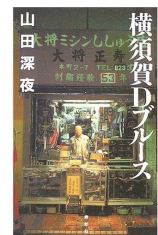
<51>

横須賀が登場する文芸や横須賀にゆかりのある文学者を紹介します。

山田深夜

『横須賀Dブルース』（寿郎社）

横須賀在住の作家による短編集。『ミスターバイクBG』という雑誌に連載されたものを単行本化したものです。作者と等身大といえる、横須賀に住みオートバイを愛する文筆業の「俺」が巻き込まれる事件や周囲に起こる人間模様などを描いた50編です。身体障害者、女性アルコール依存症者、児童虐待、動物殺処分などテーマは多岐にわたり、硬軟織り交ぜ涙あり笑いあり。『横須賀Dブルース』の「D」とは作者曰く「ダウンタウン、ディーブ、どぶ板通りなどの意味を込めました」。具体的な横須賀の地名の出る作品は多くはないのですが、カバーの表紙には「大将ミシンしゅう店」、挿入写真では「カフェ月印」が使われており、横須賀の香り満載の1冊です。



洗足学園中学高校教諭
中島正二

昭和33年から新築工事やリフォーム工事、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介させていただきます。

「すまい造りメール」第213号でご紹介させていただいた、地震等の災害によるブロック塀の倒壊または転倒による被害を未然に防ぐ目的である横須賀市の「危険ブロック塀等緊急対策補助制度」を利用した工事の完了報告です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

この制度は、ブロック塀等の撤去や同時に行う軽量なフェンス等の設置工事に要する費用について、合わせて最大で40万円が補助される制度です。（但し、横須賀市の場合は3月31日締切）補助対象となる工事は、道路・公園・その他の公共的な場所に面している安全性が確認できない高さが1mを超えるブロック塀等に傾きやひび割れがある場合等に限りません。

（参考資料：横須賀市役所危機管理課）



横須賀製鉄所物語（小栗上野介⑥批准の交換へ①） <62>

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

日米修好通商条約批准書交換のための遣米使節団の正使新見豊前守以下77名は、同行するはずの咸臨丸より3日遅れて安政7年（1860年）1月22日に浦賀港を出港しました。使節団が乗船したのはアメリカから派遣された軍艦ポーハタン号でした。この軍艦も江戸湾を出ると咸臨丸と同様に、時化に遭遇し激しい風雨に見舞われ、船旅に出来ない正使一行は、連日船酔いに苦しみ食事も満足に取れない状況でした。

当初の計画ではサンフランシスコに直行する予定でしたが、時化のため船の破損も多く、そのうえ石炭も多く消費しましたので、艦長はハワイに寄港することにしました。このため10日余りをハワイで過ごし、2月26日にホノルルを出帆して、3月9日にサンフランシスコに入港することが出来ました。そして、正使一行は咸臨丸を修理しているメア島の海軍造船所に赴き、木村撰津守、勝麟太郎、佐々倉桐太郎、ジョン万次郎、ブルック大尉他士官のメンバーと会うことが出来ました。そこでは航海の安全を喜び合い、苦難を語り合いました。地元の新聞も誌面を大きく割り日本人の訪問を歓迎しました。一方、サンフランシスコ市役所も入港後に一行が上陸すると、馬車を数十台用意し、サンフランシスコ市長以下の人たちは、多くの人たちが見守る中、彼らと一緒に馬車でホテルに向かいました。正使一行は、ホテルの利用は初めての経験であり、戸惑いを感じたことだと思います。



小栗上野介像
(東善寺)

そして、サンフランシスコ市では日本人一行を市役所において歓迎会を実施する事となっており、正使一行は、市役所からの迎えの馬車に乗り歓迎会場に向かいました。会場入り口には沢山の人垣で埋め尽くされ、警備の警官は整理するのに大変であったとのことでした。

東洋の小さな島国の使者が、アメリカ人の想像を超えた装束での訪問に多くの市民の関心が高まったので、このような大混乱になったのでした。その後、正使一行を乗せたポーハタン号は、3月16日にサンフランシスコ港を離れ、アメリカ西海岸を南下することになります。

(元横須賀市助役 井上吉隆)



「横須賀製鉄所物語」は、幕末の1865年（慶応元年）、江戸幕府の勘定奉行小栗上野介の進言により、フランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーを招き、横須賀製鉄所（造船所）として開設され、その後明治新政府に引き継がれ、1871年に完成し、日本の近代化に大きく貢献した横須賀製鉄所を史実に基づきさまざまな角度から再考察することをテーマとしています。

新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの影響により、すべての商品ではありませんが、住宅建材やキッチン、ユニットバス等の各メーカーに部品調達や物流が滞っている関係で、納期の遅れや、受注制限をする状況が発生している商品が一部あります。今後についても本格的な生産体制や物流の正常化に移行するまでに不透明な部分が多く、いましばらく時間が必要となる場合があります。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご配慮の程、よろしくお願い致します。あくまでも一部の商品です。すべての商品ではありません。



また、厚生労働省では「国民の皆様へのメッセージ」を下記のように発表しました。（2月17日現在）
新型コロナウイルス感染症は、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診することを推奨しています。



- 厚生労働省新型コロナウイルス電話相談窓口●
(9:00~21:00) 0120(565)653
- 神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル●
(9:00~21:00) 045(285)0536
- 横須賀市保健所「帰国者・接触者相談センター」●
(8:30~17:15) 046(822)4308

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「**すまい造りメール**」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2020」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索